

JPMワールド・CB・オープン

第 46 期
運用報告書（全体版）

（決算日：2024年7月30日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「JPMワールド・CB・オープン」は、去る7月30日に第46期の決算を行いました。

当ファンドは世界各国の転換社債(CB)を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的とします。当期につきましてそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当該投資信託の概要と仕組み

商品分類	追加型投信／内外／その他資産(転換社債)	
信託期間	無期限です。	
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資 (運用)対象	当ファンド	GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
組入制限および 運用方法	当ファンド	ファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて運用を行います。 外貨建資産への実質投資には、制限を設けません。 また株式への実質投資割合は純資産総額の30%以下とします。
	マザーファンド	転換社債(CB)への投資にあたっては、投資地域分散をはかりながら、価格水準、株価との連動性等の投資効率、発行企業の成長性および安定性等を総合的に分析し、魅力的な銘柄を選定します。加えて弾力的に為替ヘッジを行うことにより、主として為替変動による基準価額の下落リスクを軽減させることを目指します。株式(ワラントを含みます。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の30%以下とします。同一銘柄の株式への投資割合は、取得時においてファンドの純資産総額の10%以下とします。同一銘柄のCBへの投資割合は、ファンドの純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	毎年2回(原則として1月30日、7月30日)決算日に基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

<お問い合わせ先>

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

ホームページアドレス am.jpmorgan.com/jp

TEL 03-6736-2350 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6432 東京都千代田区丸の内2丁目7番3号 東京ビルディング

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 分配	み 騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
42期(2022年8月1日)	7,671	30	△10.7	41,129	3.8	89.3	7.5	11,210
43期(2023年1月30日)	7,552	30	△1.2	41,727	1.5	88.6	5.6	13,075
44期(2023年7月31日)	7,869	20	4.5	47,026	12.7	94.6	1.9	13,456
45期(2024年1月30日)	7,769	30	△0.9	49,775	5.8	95.8	2.3	12,534
46期(2024年7月30日)	7,742	20	△0.1	53,796	8.1	92.4	2.9	11,797

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) FTSEグローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
	円	%		%	%	%
(期首) 2024年1月30日	7,769	—	49,775	—	95.8	2.3
1月末	7,771	0.0	49,762	△0.0	95.6	2.3
2月末	7,839	0.9	51,097	2.7	93.0	2.2
3月末	7,952	2.4	52,418	5.3	94.0	2.4
4月末	7,894	1.6	53,114	6.7	95.0	2.7
5月末	7,874	1.4	53,925	8.3	94.8	3.0
6月末	7,952	2.4	55,493	11.5	93.8	2.9
(期末) 2024年7月30日	7,762	△0.1	53,796	8.1	92.4	2.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、期首の基準価額は分配金落後です。また騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、各比率は実質比率を記載しております。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすFTSEグローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、全ての地域(アジア(除く日本、米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、米国(米ドルベース)、日本(円ベース))が、前期末比で上昇しました。

- ◆期首から3月にかけては、堅調な米経済指標や企業決算を受けて、ソフトランディング(経済の軟着陸)への期待が高まり、上昇基調で推移しました。また、中国の旧正月連休中の消費支出が予想を上回る水準となり投資家心理が改善したことも、支援材料となりました。
- ◆4月は中東情勢の緊迫化や、インフレ指標の上振れを受けてFRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ期待が後退したことなどから、一時的に下落しました。しかし、その後7月半ばにかけては、一部経済指標が軟化したことなどを背景に、2024年後半の利下げ観測が高まり、概ね良好な企業決算にも支えられて、再び上昇基調で推移しました。
- ◆その後期末にかけては、一部テクノロジー企業の比較的低調な業績発表などが重石となり、下落しました。

◎為替市況

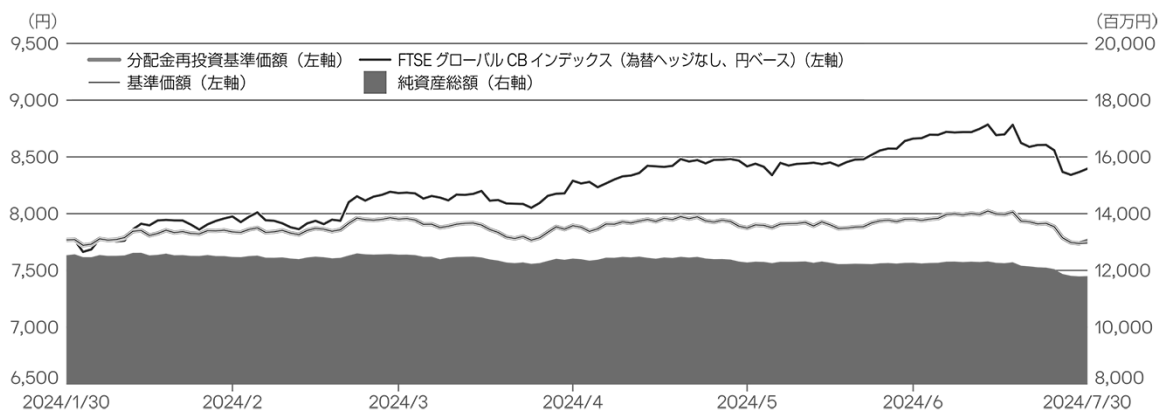
為替市場では、当期において米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。期首から7月上旬にかけては日銀がマイナス金利政策を解除した一方で、FRBは金利政策を維持する中で、米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。しかし、その後は政府・日銀による2度の為替介入や日本の政策金利を巡る閣僚の発言などを受けて、米ドル、ユーロともに急速に対円で下落しました。

運用経過の説明

◎基準価額等の推移

○当ファンド: 基準価額(税引前分配金再投資)の騰落率は-0.1%となりました。

○組入ファンド: マザーファンドの基準価額の騰落率は+4.1%となりました。



(注) 基準価額は、信託報酬控除後です。分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後のもので、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです(以下同じ)。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません(以下同じ)。

(注) 分配金再投資基準価額およびFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の主な変動要因

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れた結果、マザーファンドにおいて、投資通貨が対円で上昇したことなどは基準価額を押し上げた要因となったものの、当ファンドにおいては、信託報酬等の費用などが基準価額を押し下げる要因となりました。

◎ポートフォリオについて

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を高位に組み入れました。

○マザーファンド

セクター別では、資本財や公益事業セクターがプラスに寄与したものの、テクノロジーや消費財(生活必需品)セクターのパフォーマンスが振るいませんでした。各国・地域別では、欧州や日本への投資はパフォーマンスにプラスに寄与しましたが、北米はマイナスに寄与しました。

◎分配金

基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口当たりの分配金は20円(税込)としました。留保益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込)

項 目	第46期
	2024年1月31日～ 2024年7月30日
当期分配金	20
(対基準価額比率)	0.258%
当期の収益	—
当期の収益以外	20
翌期繰越分配対象額	59

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 円未満は切捨てです。当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆世界経済は底堅さを示しており、今後12ヵ月においては地域ごとに違いはあるものの、世界経済は引き続き堅調に推移することが見込まれます。グローバルにおいて、一部経済指標は回復の兆しを示しており、消費動向の復調に伴って、更なる回復が見込まれると考えています。
- ◆歴史的に見て、名目成長率の見通し改善は企業業績の成長につながっており、2024年の予想増益率は、2023年後半から着実に改善しています。株式市場では一部地域や銘柄への集中が見られますが、選挙や通商政策の動向、異常気象など、不確実性が高い事象が複数存在する環境下においては、一部の地域に過度に集中せず、分散投資を行う重要性が高まっています。欧州と日本の成長見通しが改善しつつあることに加え、株式市場が過去平均に近いバリュエーション(価格評価)水準で取引されるようになったことで、世界の株式市場においてますます幅広い投資分散の機会が生まれていると見ています。
- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、最近の金利上昇、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスへの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション(株式に転換しうる権利)が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

◎今後の運用方針

○当ファンド

マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○マザーファンド

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2024年1月31日～2024年7月30日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 65	% 0.820	(a) 信託報酬 = $\frac{\text{期中の平均基準価額}}{\text{信託報酬率}}$
(投 信 会 社)	(30)	(0.383)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、目論見書、運用報告書等の開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(販 売 会 社)	(30)	(0.383)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、交付運用報告書の交付業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.055)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	—	—	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(優 先 証 券)	(—)	(—)	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の売買委託取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(優 先 証 券)	(—)	(—)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.047	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保 管 費 用)	(2)	(0.027)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.011)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
(そ の 他)	(1)	(0.009)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	69	0.867	
期中の平均基準価額は、7,880円です。			

(注) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

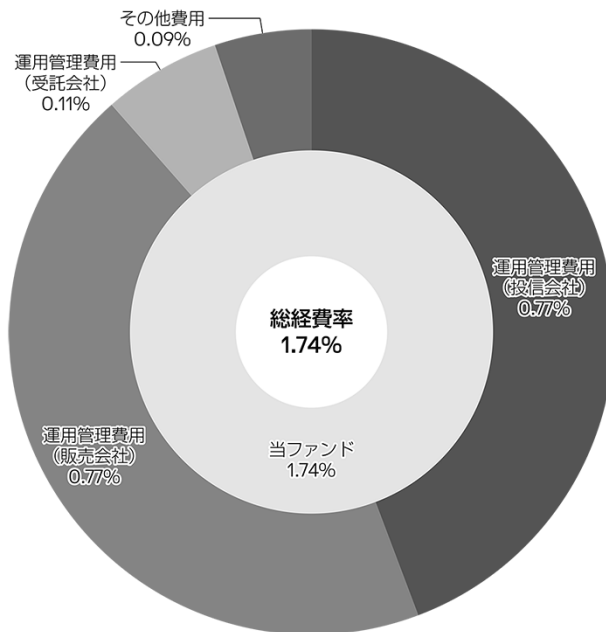
(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年1月31日～2024年7月30日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	千口 46,583	千円 218,297	千口 391,852	千円 1,853,554

(注) 単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2024年1月31日～2024年7月30日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人の発行する有価証券等

<ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
新株予約権付社債(転換社債)	百万円 -	百万円 317	百万円 -

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2024年1月31日～2024年7月30日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年1月31日～2024年7月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年7月30日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	2,830,124	2,484,855	11,677,329

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2024年7月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券	11,677,329	97.7
コール・ローン等、その他	270,370	2.3
投資信託財産総額	11,947,699	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) ワールド・CB・オープン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(10,491,014千円)の投資信託財産総額(11,686,239千円)に対する比率は89.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=154.08円、1ユーロ=166.64円、1英ポンド=198.05円、1スイスフラン=173.79円、1スウェーデンクローネ=14.22円、1ノルウェークローネ=14.01円、1オーストラリアドル=100.88円、1香港ドル=19.72円、1シンガポールドル=114.71円、1南アフリカランド=8.35円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年7月30日現在)

項目	当期末
(A) 資産	18,543,423,870
ワールド・CB・オープン・マザーファンド受益証券(評価額)	11,677,329,847
未収入金	6,866,094,023
(B) 負債	6,745,522,963
未払金	6,603,114,832
未払収益分配金	30,476,081
未払解約金	8,989,994
未払信託報酬	101,587,613
その他未払費用	1,354,443
(C) 純資産総額(A-B)	11,797,900,907
元本	15,238,040,606
次期繰越損益金	△ 3,440,139,699
(D) 受益権総口数	15,238,040,606口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,742円

<注記事項>

期首元本額	16,134,985,729円
期中追加設定元本額	277,190,385円
期中一部解約元本額	1,174,135,508円

当期末における未払信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

未払受託者報酬	6,772,508円
未払委託者報酬	94,815,105円

○損益の状況 (2024年1月31日～2024年7月30日)

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	91,286,442
売買益	1,091,576,733
売買損	△1,000,290,291
(B) 信託報酬等	△ 103,410,237
(C) 当期損益金(A+B)	△ 12,123,795
(D) 前期繰越損益金	△1,781,687,143
(E) 追加信託差損益金	△1,615,852,680
(配当等相当額)	(120,739,516)
(売買損益相当額)	(△1,736,592,196)
(F) 計(C+D+E)	△3,409,663,618
(G) 収益分配金	△ 30,476,081
次期繰越損益金(F+G)	△3,440,139,699
追加信託差損益金	△1,646,328,761
(配当等相当額)	(90,370,079)
(売買損益相当額)	(△1,736,698,840)
繰越損益金	△1,793,810,938

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に関する権限を委託するため要する費用として、純資産総額に年率0.35%を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(120,846,160円)より分配対象収益は120,846,160円(10,000口当たり79円)であり、うち30,476,081円(10,000口当たり20円)を分配金額としております。

(注) 当期における信託報酬(消費税相当額を含む)の内訳は以下の通りです。

受託者報酬	6,772,508円
委託者報酬	94,815,105円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	20円
----------------	-----

課税上の取扱いについて

●普通分配金に対して、個人の受益者については、配当所得として20.315%(所得税および復興特別所得税15.315%、ならびに地方税5%)の税率で課税されます。なお、外国税額控除の適用となった場合、分配時の税金が前記と異なる場合があります。法人の受益者の場合、前記とは異なります。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

※上記は2024年7月末現在適用されているものです。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。詳しくは税務専門家(税務署等)にお問い合わせください。

GIMワールド・CB・オープン・
マザーファンド第 23 期
運用報告書(決算日: 2024年1月30日)
(計算期間: 2023年1月31日～2024年1月30日)

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
運用方針	世界各国の転換社債(CB)を中心に投資し、信託財産の着実な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	日本を含む世界各国の転換社債(CB)を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資には制限を設けません。また、株式への投資割合は純資産総額の30%以下とします。

(注) 当報告書における比率は、表示桁未満四捨五入です。

(注) 「GIMワールド・CB・オープン・マザーファンド」は「ワールド・CB・オープン・マザーファンド」または「マザーファンド」ということがあります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)			FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率				
19期(2020年1月30日)	31,692	11.0	30,554	14.6	24,739	13.8	93.6	2.2	14,299		
20期(2021年2月1日)	41,077	29.6	39,153	28.1	32,372	30.9	80.8	4.2	15,086		
21期(2022年1月31日)	40,067	△ 2.5	39,627	1.2	30,299	△ 6.4	89.4	6.1	11,033		
22期(2023年1月30日)	39,188	△ 2.2	41,727	5.3	27,964	△ 7.7	88.6	5.6	13,078		
23期(2024年1月30日)	45,163	15.2	49,775	19.3	28,089	0.4	93.9	2.2	12,781		

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、当ファンドの投資対象市場の動きを示すものであり、当ファンドのベンチマークではありません。(以下同じ)。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

(注) FTSEグローバルCBインデックスは、Refinitiv(「リフィニティブ」)が発表しており、著作権はリフィニティブに帰属しております。FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、円ベース)は、同社が発表したFTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし、米ドルベース)を委託会社にて円ベースに換算したものです。(以下同じ)。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジなし、円ベース)			FTSEグローバルCBインデックス (為替ヘッジあり、円ベース)			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	優先証券 組入比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率			
(期首) 2023年1月30日	39,188	—	41,727	—	27,964	—	88.6	5.6		
1月末	38,857	△ 0.8	41,616	△ 0.3	27,789	△ 0.6	89.4	5.7		
2月末	39,758	1.5	42,832	2.6	27,467	△ 1.8	87.6	5.9		
3月末	39,471	0.7	41,819	0.2	27,229	△ 2.6	88.3	3.7		
4月末	39,611	1.1	42,131	1.0	27,022	△ 3.4	91.8	2.5		
5月末	40,880	4.3	43,994	5.4	27,134	△ 3.0	93.3	1.2		
6月末	43,582	11.2	47,032	12.7	27,888	△ 0.3	94.7	1.1		
7月末	43,699	11.5	47,026	12.7	28,509	1.9	93.9	1.9		
8月末	43,934	12.1	47,676	14.3	27,784	△ 0.6	94.2	2.4		
9月末	43,200	10.2	47,576	14.0	27,166	△ 2.9	91.6	2.3		
10月末	42,171	7.6	45,919	10.0	26,142	△ 6.5	91.4	2.3		
11月末	43,827	11.8	47,772	14.5	27,176	△ 2.8	93.6	2.2		
12月末	43,849	11.9	48,121	15.3	28,379	1.5	93.6	2.2		
(期末) 2024年1月30日	45,163	15.2	49,775	19.3	28,089	0.4	93.9	2.2		

(注) 騰落率は期首比です。

(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)は、設定時を10,000として指数化しています。

投資環境

◎CB市況

世界のCB市場動向を表わすFTSEグローバルCBインデックス(米ドルベース)は、前期末比で上昇しました。各国・地域のCBインデックスでは、米国(米ドルベース)、アジア(除く日本、米ドルベース)、欧州(ユーロベース)、日本(円ベース)は、全て前期末比で上昇しました。

- ◆期首から3月中旬にかけては、中央銀行による利上げの継続や政策金利の高止まりへの懸念が強まったこと、シリコンバレー銀行の破綻などを受けて世界のCB市場は下落しました。
- ◆7月下旬にかけては、米国の債務上限問題や景気減速への懸念から、世界のCB市場は小幅に下落する局面もありました。しかし、経済指標の堅調さや、インフレ率の低下に伴って米国における利上げ打ち止め期待が広がったことなどから上昇基調で推移しました。
- ◆10月下旬にかけては、中国の経済減速に対する警戒感が強まったことや、高い政策金利の長期化への不安等に加えて、イスラエルとハマスの軍事衝突を受けて消費者心理が悪化し、世界のCB市場は下落しました。
- ◆その後期末にかけては、米国および欧州でインフレ率の鈍化を示すデータの発表が続き、主要先進国の中央銀行による利下げへの期待が高まったことから、上昇基調で推移しました。

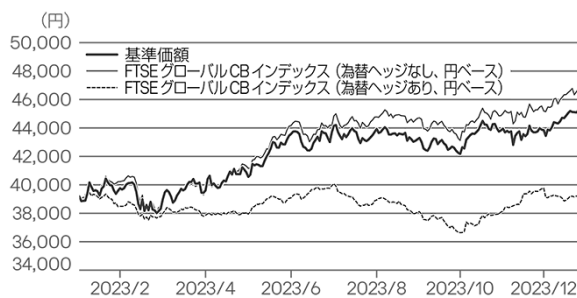
◎為替市況

為替市場では、米国地方銀行の破綻等で相場が変動する局面もありましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)高官による追加利上げを示唆する発言や、ECB(欧州中央銀行)、BOE(イングランド銀行)による相次ぐ利上げ、そして日銀の金融政策決定会合で金融緩和の継続が決定されたことなどを背景に、7月初めにかけて米ドル、ユーロともに対円で上昇基調で推移しました。その後軟調となる場面もあったものの、11月中旬にかけてFRB(米連邦準備制度理事会)議長による追加利上げを示唆する発言や、日銀総裁が金融緩和の継続を示したことなどから米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。その後、日銀当局者の発言を受けてマイナス金利政策の修正観測が高まったことや、米金利低下や欧州経済の鈍化を背景に下落した局面があったものの、期を通じて米ドル、ユーロともに対円で上昇しました。

運用経過の説明

◎基準価額の推移

基準価額の騰落率は+15.2%となりました。



(注) FTSEグローバルCBインデックス(為替ヘッジなし/為替ヘッジあり、円ベース)はグラフの始点の日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

◎基準価額の変動要因

投資通貨が対円で上昇したことなどが基準価額を押し上げました。

◎ポートフォリオについて

セクター別では、テクノロジーやコミュニケーションセクターがプラスに寄与したものの、消費財（景気循環）や消費財（生活必需品）セクターのパフォーマンスが振るいませんでした。各国・地域別では、北米や欧州への投資などがプラスに寄与しましたが、アジア（除く日本）はマイナスに寄与しました。

今後の見通しと運用方針

◎今後の見通し

- ◆好調な経済指標を受けて米経済のソフトランディング（経済の軟着陸）への期待が高まる一方、早期利下げの可能性は幾分後退しました。依然として世界経済へのリスクは消えておらず、マクロ経済の不透明感に加えて、政治的、地政学的にも現時点で正確な予測が難しいリスクが存在しており、今後の動向を注視しています。
- ◆一方、2024年を通して企業業績の改善が見込まれています。過去数年、多くの地域において企業業績は振るいませんでしたが、2024年は世界全体で10%前後の業績成長を見込んでいます。グローバル株式市場は構造的な変化や米ドル安、ガバナンスの改善などによって恩恵を受ける可能性があると考えています。とりわけ、日本や中国を除く新興国市場などの回復が期待されており、米国と他国との成長格差が縮小しつつある点もグローバル経済全体の支援材料となる可能性があります。
- ◆2023年は超大型テクノロジー銘柄を中心にAI関連銘柄が市場をけん引しましたが、2024年はこのような銘柄に限らず、財務健全性が高く、優秀な経営陣のもと中長期的な成長が見込まれる優良銘柄を引き続き重視しています。テクノロジーセクターに加えて、資本財や金融、ヘルスケアセクターなども注目しています。引き続き、割安かつ中長期的な成長が見込める企業を見極め、優良銘柄への投資を行っていきます。
- ◆CBは様々な理由から投資妙味が高い資産と考えます。第一に、最近の金利上昇、地政学的な緊張、インフレの高まりによる市場の変動性の高まりなどを背景とした資産クラスの割安感から、新規投資の好機となっています。第二に、CBは債券の特性により下落率が抑制される傾向にあることに加え、一般的な債券よりもスプレッドが大きく、デュレーションも短くなっています。また、CBにはオプション（株式に転換しうる権利）が組み入れられているため、デュレーション・リスクが大幅に低減されます。金利が上昇すると、債券部分は低下しますが、オプション部分の評価が上昇します。

◎今後の運用方針

世界各国のCBを主要投資対象とし、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2023年1月31日～2024年1月30日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (優 先 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (優 先 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)
(c) そ の 他 費 用	26	0.062
(保 管 費 用)	(20)	(0.047)
(そ の 他)	(6)	(0.015)
合 計	26	0.062
期中の平均基準価額は、41,903円です。		

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2023年1月31日～2024年1月30日)

新株予約権付社債(転換社債)

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
国内		千円 870,000	千円 951,506	千円 20,000	千円 25,874
外 国	アメリカ	千米ドル 22,293	千米ドル 24,504	千米ドル 35,887 (1,116)	千米ドル 46,644 (1,116)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	1,400	1,408	400	729
	フランス	5,848	5,992	1,445	1,557
	その他	10,300	10,620	4,000	4,246
	イギリス	千英ポンド 200	千英ポンド 176	千英ポンド 1,100	千英ポンド 959
	スイス	千スイスフラン 360	千スイスフラン 461	千スイスフラン 2,000	千スイスフラン 2,668
	オーストラリア	千オーストラリアドル 600	千オーストラリアドル 635	千オーストラリアドル 600	千オーストラリアドル 650
	香港	千香港ドル 18,000	千香港ドル 18,252	千香港ドル 26,000	千香港ドル 26,996
	シンガポール	千シンガポールドル 750	千シンガポールドル 930	千シンガポールドル 1,000	千シンガポールドル 1,324

(注) 金額は受渡し代金です(経過利子分は含まれておりません)。なお、単位未満は切捨てです。
(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。
(注) 下段に()がある場合は権利行使、予約権行使、償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

優先証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	アメリカ	百証券 327	千米ドル 1,494	百証券 324	千米ドル 4,542

(注) 金額は受渡し代金です。なお、単位未満は切捨てです。
(注) 外国の内訳は、国、地域名または取引市場を記載しております。

○利害関係人との取引状況等

(2023年1月31日～2024年1月30日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
新株予約権付社債(転換社債)	百万円 32	百万円 95	百万円 299

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とはJPモルガン・チェース銀行です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年1月31日～2024年1月30日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年1月30日現在)

下記は、ワールド・CB・オープン・マザーファンド全体(2,830,124千口)の内容です。

国内新株予約権付社債(転換社債)

銘	柄	当 期 末	
		額 面 金 額	評 価 額
		千円	千円
ダイフク 0% SEP 28 CB		180,000	196,871
太陽誘電 0% OCT 30 CB		150,000	161,662
サンリオ 0% DEC 28 CB		60,000	66,759
高島屋 0% DEC 28 CB		210,000	230,811
SBIホールディングス 0% JUL 25 CB		130,000	168,582
ANAホールディングス 0% DEC 31 CB		120,000	139,369
合 計	額 面 金 額	850,000	964,055
	銘 柄 数 < 比 率 >	6	< 7.5% >

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

外国新株予約権付社債(転換社債)

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
	千米ドル	千米ドル	千円
(アメリカ)			
CYBERARK 0% CB	280	424	62,614
MICROCHIP 0.125% CB	1,725	1,806	266,286
BARCLAYS BK 0% EB	1,352	2,774	408,851
BARCLAYS BK 0% FOTR EB	1,689	1,842	271,532
SQUARE 0.125% CB	1,123	1,087	160,251
GLENCORE 0% GLEN CB	600	619	91,349
AKAMAI TECH 0.125% CB	1,716	2,271	334,812
SOUTHWEST 1.25% CB	1,192	1,225	180,564
BOOKING HLDGS 0.75% CB	1,106	2,093	308,501
FIVE9 0.5% CB	1,645	1,577	232,550
DATADOG 0.125% CB	540	784	115,591
ZSCALER 0.125% CB	427	706	104,057
STMICRO 0% A CB	1,600	1,792	264,173
MIDDLEBY CORP 1% CB	574	689	101,642
DEXCOM 0.25% CB	2,659	2,778	409,518
SEA 2.375% CB	797	760	112,103
BILL COM HLDG 0% CB	718	673	99,230
XERO 0% CB	1,030	929	137,038
UBER TECHNOLOGIES 0% CB	1,951	2,033	299,753
FORD MOTOR 0% CB	1,125	1,089	160,568
PEN GAMING 2.75% CB	318	386	56,956
JAZZ 2% CB	600	610	89,940
INSULET 0.375% CB	463	505	74,471
ZILLOW GRP 1.375% CB	1,372	1,898	279,757
ETSY 0.125% CB	480	514	75,866
ON SEMICOND 0% CB	802	1,180	173,923
BIOMARIN PHARM 1.25% CB	695	701	103,373
TRIP.COM GROUP 1.5% EB	365	392	57,871
AKAMAI TECH 0.375% CB	574	661	97,437
ALNYLAM PHARMACE 1% CB	174	169	24,983
CARNIVAL CORP 5.75% CB	341	517	76,329
EXACT SCIENCES 0.375% CB	1,459	1,296	191,127
DROPBOX 0% CB	1,274	1,346	198,453

銘柄	当 期 末			
	額面金額	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	千米ドル	千米ドル	千円	
LG CHEM LTD 1.25% CB	1,100	1,040	153,285	
LIVE NATION 3.125% CB	589	649	95,729	
LENOVO GRP 2.5% CB	1,000	1,201	177,019	
MATCH GROUP 2% CB	500	441	65,131	
小 計	額面・金額	35,955	41,475	6,112,648
	銘柄数<比率>	37	—	<47.8%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
DHLGROUP AG 0.05% DPW CB	900	878	140,329	
ZALANDO 0.05% A CB	1,100	1,020	163,090	
LUFTHANSA 2% LHA CB	500	527	84,360	
小 計	額面・金額	2,500	2,426	387,779
	銘柄数<比率>	3	—	<3.0%>
(ユーロ・・・フランス)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BNP PARIBAS 0% . CB	1,000	1,193	190,671	
ARCHER 0% PUM EB	1,500	1,405	224,634	
SCHNEIDER ELEC 0% CB	1,452	1,621	259,081	
SAFRAN 0.875% SAF CB	1,838	3,023	483,216	
ACCOR SA 0.7% CB	1,498	1,506	240,781	
EDENRED 0% EDEN CB	694	710	113,511	
小 計	額面・金額	7,984	9,461	1,511,897
	銘柄数<比率>	6	—	<11.8%>
(ユーロ・・・その他)	千ユーロ	千ユーロ	千円	
JPM 0% MCFP EB	1,800	1,874	299,556	
JPM 0% EB	800	815	130,272	
BARCLAYS BK 0% EB	1,100	1,077	172,146	
ANLLIAN CAPITAL 0% EB	2,000	1,968	314,598	
AMADEUS IT 1.5% CB	1,700	2,121	339,018	
GBL 2.125% EB	800	774	123,795	
FOMENTOECOMONICO2.625%EB	1,600	1,596	255,071	
POSCO HLDGS 0% CB	1,200	1,268	202,703	
IBERDROLA 0.8% IBE CB	900	884	141,275	
CITIGROUPGLOBAL0%GMTN EB	1,800	1,979	316,291	
CELLNEX 0.5% CLNX CB	800	842	134,582	

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ユーロ・・・その他)	千ユーロ	千ユーロ	千円
CAMPARI MILANO 2.375% CB	1,200	1,211	193,583
小 計	額面・金額	15,700	16,413
	銘柄数<比率>	12	—
ユーロ計	額面・金額	26,184	28,301
	銘柄数<比率>	21	—
(香港)	千香港ドル	千香港ドル	千円
ZHONGSHENG 0% CB	4,000	4,277	80,669
CATHAYPACIFICAIR2.75%CB	4,000	4,120	77,716
CITIGROUPGLOBAL0%1299 EB	8,000	7,392	139,419
小 計	額面・金額	16,000	15,790
	銘柄数<比率>	3	—

銘柄	当 期 末		
	額面金額	評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(シンガポール)	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円
SINGAPORE AIR 1.625 CB	750	961	105,830
小 計	額面・金額	750	961
	銘柄数<比率>	1	—
合 計	額面・金額	—	—
	銘柄数<比率>	62	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。
(注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。ただし、ユーロの場合は当該有価証券の発行地または取引市場の国または地域名を記載しております。うち、ユーロ圏以外の発行地または取引市場の国または地域名については、「ユーロ・・・その他」の欄に記載しております。

優先証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
		証券数	評 価 額		
			証券数	外貨建金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)		百証券	千米ドル	千円	
KKR & CO INC 6% C PFD	209	—	—	—	金融サービス
DANAHER CORP 5% B PFD	16	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
NEXTERA ENERGY0.6.926% PFD	186	513	1,929	284,431	公益事業
BSX 5.50% PFD	99	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
合 計	証券数・金額	511	513	1,929	284,431
	銘柄数<比率>	4	1	—	<2.2%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
(注) 邦貨換算金額欄の<>内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 証券数・評価額の単位未満は切捨てです。
(注) 証券数に一印がある場合は組入れなしを表します。
(注) ()内には、各証券の発行通貨の国、地域名または取引市場を記載しております。

○投資信託財産の構成

(2024年1月30日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	12,002,914	93.8
優先証券	284,431	2.2
コール・ローン等、その他	502,984	4.0
投資信託財産総額	12,790,329	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。なお、「コール・ローン等、その他」については投資信託財産総額から他の資産を差し引いた額を記載しています。

(注) 当期末における外貨建純資産(11,448,523千円)の投資信託財産総額(12,790,329千円)に対する比率は89.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=147.38円、1ユーロ=159.80円、1英ポンド=187.45円、1スイスフラン=171.11円、1スウェーデンクローネ=14.18円、1ノルウェークローネ=14.16円、1オーストラリアドル=97.61円、1香港ドル=18.86円、1シンガポールドル=110.08円、1南アフリカランド=7.83円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月30日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	12,790,329,085
コール・ローン等	485,494,254
公社債(評価額)	12,002,914,698
優先証券(評価額)	284,431,742
未收利息	15,731,499
前払費用	1,756,892
(B) 負債	8,582,717
未払解約金	8,581,631
未払利息	1,086
(C) 純資産総額(A-B)	12,781,746,368
元本	2,830,124,740
次期繰越損益金	9,951,621,628
(D) 受益権総口数	2,830,124,740口
1万口当たり基準価額(C/D)	45,163円

<注記事項>

期首元本額	3,337,347,093円
期中追加設定元本額	441,819,974円
期中一部解約元本額	949,042,327円

元本の内訳

JPMワールド・CB・オープン	2,830,124,740円
-----------------	----------------

○損益の状況

(2023年1月31日～2024年1月30日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	114,448,278
受取配当金	22,806,513
受取利息	86,708,882
その他収益金	5,003,989
支払利息	△ 71,106
(B) 有価証券売買損益	1,754,338,872
売買益	2,858,217,383
売買損	△1,103,878,511
(C) その他費用等	△ 8,256,123
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,860,531,027
(E) 前期繰越損益金	9,741,112,287
(F) 追加信託差損益金	1,390,295,444
(G) 解約差損益金	△3,040,317,130
(H) 計(D+E+F+G)	9,951,621,628
次期繰越損益金(H)	9,951,621,628

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

- ・2023年10月28日付で、新NISA成長投資枠の要件に適合させるため、信託約款に所要の変更を行っております。
- ・2023年11月15日付で、運用の指図に関する権限の委託を受けた者の報酬に関する条文における追加型証券投資信託GIMワールド・CB・オープンVA(適格機関投資家専用)にかかる記載を削除する信託約款の変更を行っております。